

福山市立大津野小学校 学校だより

明知山



2023年度(令和5年度)12月14日 第7号

男:187名 女:181名 計368名

〈福山市めざす子ども像〉

福山に愛着と誇りをもち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども

〈大門中学校区めざす子ども像〉

自ら考え、自ら学ぶ、自尊感情の高い児童生徒

有り明や 浅間の霧が 膳をはふ ~小林一茶~

12月に入り、秋の深まりを感じるようになりました。総合的な学習の時間の学習課題に地球温暖化を挙げている子どもがいましたが、私たちに迫りくる問題となっているようです。

学習発表会、マラソン大会と2学期の大きな行事を無事終えることができました。子どもたちの姿は、保護者・地域の皆様へどのように映ったでしょうか。

子どもたちは、全力を出し切ることで、本番まで粘り強く成長していくことをめざし、日々努力を積み重ねてきました。どの子もいい顔をして本番を迎えることができました。子どもたちへの温かい拍手と声援、ありがとうございました。

引き続き、子どもたちの「根っこ」を教職員一丸となって育ててまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

思いを届けた学習発表会

11月10日(金)、学習発表会を行いました。1年はオペレッタ、2・4・6年は合唱と合奏、3年は総合的な学習の時間で学んだ「わが町大津野」、5年生は山・海・島体験活動での体験活動から「北広島と大津野の伝統と文化」について発表しました。子どもたちは、演じること、歌うこと、演奏すること、体の動きを出すこと、全てにおいて自ら楽しんで生き生きと表現しました。

発表会を通して培った力を活かし、子ども達が自ら選んだり、考えたり、決めたり、工夫したりしながら、主体となって表現することを学校教育の様々な活動の中で取り組んでいきます。



走り切ったマラソン大会

12月4日(月)、マラソン大会を行いました。低学年は1.0km、中学年は1.25km、高学年は1.5kmを走りました。子どもたちは、体育の時間ももとより、朝の時間、大休憩、昼休憩といった自分の時間も費やしながら体力向上に向けて取り組みました。

マラソン大会では、苦しくても最後まで一生懸命に走り切る姿、最後の30mで残っている力を出し切る姿など、やり切ろうとする子どもたちの姿を多く見ることができました。子どもたちは走り切った充実感を持って大会を終えています。

もう少し、あと少しだけがんばってみようとする子どもたちに育っていることと思います。



学校賞いただきました! ~木下夕爾賞~

今年度も「第22回木下夕爾賞」に応募し、昨年度、一昨年度に引き続き、学校賞を受賞しました。小学校低学年の部応募総数935作品のうち、優秀賞2名、入選2名、小学校高学年の部応募総数1057作品のうち、優秀賞1名、入選1名、低学年と高学年を合わせて6名の児童が入選に輝きました。学校の取組が認められ、11月23日には、ふくやま文学館にて表彰式が行われ、参加した児童は、入選した自作の詩を朗読しました。

大津野小学校の「表現する」という継続した取組みが実を結んでいることを実感します。今後も、見たこと経験したことから心に溢れた感情を「ことば」「絵画や造形」「身体」等、様々な方法で豊かに表現する取組を継続していきます。

